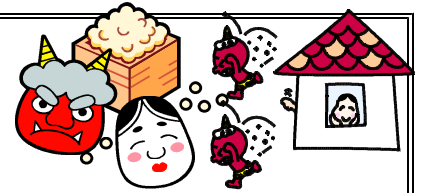




進路だより



中学校生活最後の定期テストです！

Vol.67 2022.2.8

最後の定期テストが始まります！

2月9日（水）10日（木）は、中学校生活最後の定期テストです！中学校に入学してから9回の定期テストを受けてきたわけですが、1年生の時には計画表を作って10日間で1800分以上のテスト勉強を目指し、10日ほど前から朝勉強を実施してきましたね。3年生になってテスト勉強の時間も10日間で2400分以上となり、朝勉強もますます進化してきている人がいますよね。



そんな定期テストが終わるたびに「今回は勉強不足だった」「もっと勉強しておけば良かった」なんて反省を書いてきたのではないのでしょうか？しかし、今回が中学校生活で最後の最後の定期テストなのです！今回だけは「もっと勉強しておけば良かった」などと反省できないのです。

皆さん！勉強が足りずにまた後悔だけが残る結果にしたいですか？それともやるだけやって達成感を得たいですか？私なら最後だけでも達成感を得たい！できればみんなも私と同じように達成感を得たいと思っています。それが今後のみんなの人生のどこかで役に立つかも知れないから・・・。

さあ残された日数はあとわずかです。これまでのテスト勉強が不十分だった人も、残されたこの数日間をフルパワーで乗り切ってほしいものです。過ぎ去った時間は取り戻せない！だから大切なのは「今」だと思うのです。



最後の「テスト計画表」です！

1月31日（月）から「テスト勉強計画表」に取り組んでいます。今回は本当に最後のテスト勉強計画表です。これまで悔いが残ってきたかもしれないテスト勉強も、今回だけは充実したテスト勉強にしてほしいものです。10日間で2400分！先週末の土日もずいぶんたくさんテスト勉強ができたはず。各自明日までのテスト勉強計画表を持っていますので、親子で一緒にご覧ください。2月10日（木）にはしっかり反省してくださいね。

入学手続きはお済みですか？

私立高等学校の入学手続き等はお済みでしょうか？期限日までに入学手続きが完了していなければ、入学金や授業料の免除等が無効になったり、最悪の場合は合格が取り消されたりする場合があります。もう一度合格通知に同封されていた文書を熟読していただき、入学手続きや合格者集合等についてご確認ください。併せて入学手続き完了後、速やかに「入学手続き完了届」を担任までご提出ください。

学ばない者は人のせいにする。自分に何が足りないかを考えないから。
学びつつある者は自分のせいにする。自分に何が足りないかを知っているから。
学ぶことを知っている者は誰のせいにもしない。常に学び続ける人でいたい。

（プロサッカー選手 三浦 知良）

空気を読む!?→空気をつくる!

「空気を読む」は本来、その場の雰囲気を感じ取り状況に応じて行動することを意味する言葉です。「空気を読む」とは、場の雰囲気や状況を察するというだけでなく、そのタイミングではどのような行動を取るのがよいかを考えて判断した結果の対応も含みます。「空気を読む」の語源となるのは、慣用句「場の空気を読む」の言葉です。「場の空気」とは「その場の雰囲気」を意味しており「空気を読む」と「場の空気を読む」は同じ意味合いを持つ言葉となります。この「空気を読む」という表現は「場の空気を読む」という慣用句として表現自体は昔から存在していましたが、2007年ユークヤンの新語・流行語大賞にエントリーされるなど、ブレイクした「空気読めない」という意味の「KY」という言葉が出てきたころから、一般的に浸透しました。それまでは、『空気を読む』という表現より『雰囲気に合わせる』とか『場違いなことはしない』といった表現が多かったように思います。



会社内で、空気を読んで行動することにずば抜けて長けていたのに失脚していく人間もいれば、空気を読まない言動が多いのに上司から気に入られて出世していく人間もいると聞きます。上司からすれば空気を読める部下のほうが使い勝手がいいはずだし、空気を読まない人間とは一緒に仕事もやりにくいはずです。それなのに、なぜそんなことが起こるのでしょうか。この謎は「空気を読む」という言葉を「忖度する」という言葉に置き換えると解決します。2017年の森友学園問題や大企業のデータ改ざん、昨今の政権与党へのメディアの自主規制など、さまざまな事件や問題が立て続けに起こったためにネガティブなイメージが定着してしまいましたが、そもそも「忖度」は「相手の気持ちを推し量る」という意味を持ち、戦わず、平和的に物事を進める日本ならではのコミュニケーションのあり方なのです。

では今何なぜこの「空気を読む」という言葉をこの進路便りに書いているかということ・・・

今3年生の中で19名の生徒が公立高等学校等の受検をめざして毎日受験勉強に励んでいます。しかしその一方で既に11名の生徒が私立高等学校等への進学を決定しています。この2者には大きな隔たりが生じてしまう可能性があります。私立高等学校への進学を決定した人たちのちょっとした行動や言動が、公立高等学校の受検を控えている人たちにとっての大きなストレスになることがあるのです。だから既に私立高等学校進学を決定した人たちが「もう決まったからいいや！」なんて安易に考えてほしくないのです。消して「KY」(空気が読めない)になってはいけません。



「受検(受験)は団体戦」と言われます。今こそ、私立高等学校進学を決定した人たちが、公立高等学校受検を控えている人たちの「空気を読む」ことが大切です。さらには私立高等学校進学を決定した人たちが、公立高等学校受検を控えている人たちの「空気をつくる!」ことが必要なのです。それこそが「みんなが合格」ではなく「みんなで合格」を目指す溝辺中学校3年1組であってほしいのです。